

調査相談(レファレンス)事例紹介 3



Question

江戸の材木商で群馬県ゆかりの冬木屋上田家とは???



Answer

材木商の冬木屋上田家は、上野国板鼻宿の上田角右衛門の長男直次が承応3(1654)年に江戸の南茅場町(現中央区)で材木商を始めたのが始まりといわれ、豪商として知られています。

現在の東京都江東区“冬木”という地名は、この冬木屋の屋号から付けられました。宝永2(1705)年に冬木屋が木材置き場としてこの土地を買い受けて町屋をたて、町名に屋号をとりました。

子孫は代々茶の湯をたしなみ、名物茶器の収集家としても有名でした。特に、二代目政親は尾形光琳と交流が深く、ともに表千家の随流斎宗左の門に学ぶ等の仲であったとのこと。東京国立博物館所蔵の重要文化財“小袖 白綾地秋草模様(通称、冬木小袖)”は、尾形光琳が冬木家のために描いたといわれています。

この小袖は、桔梗・菊・萩・すすき等の秋草が美しい描絵小袖ですが、傷みが激しかったため、2020年から東京国立博物館と文化財活用センターが“<冬木小袖>修理プロジェクト”を行っています。このプロジェクトの一環として、冬木小袖と初音ミクがコラボしていたことはご存知ですか?冬木小袖(イラストでは振袖にアレンジされています)を身に纏った初音ミクのイラストの入ったグッズが販売され、売上の一部が修理費用に充てられたそうですよ。



参考文献

書名	責任表示	出版社	出版年	資料コード
① 木場冬木家考(「國華」第75編第4冊の複写)	石塚青我/著	国華社	1966	01612993
② 群馬県史 通史編6	群馬県史編さん委員会/編	群馬県	1992	01997535
③ 日本歴史地名大系 13(東京都の地名)		平凡社	2002	07932452
④ 冬木沿革史	島田一郎/著	冬木町会	1926	所蔵なし
⑤ 光琳東下考(中の一)(「大和文華」第33号)	大和文華館/編	大和文華館	1960	所蔵なし

※参考文献④⑤は当館に所蔵はなく、国立国会図書館デジタルコレクションにて閲覧可能

※上記資料の他、東京国立博物館・文化財活用センター等のホームページも参考にしています

今回ご紹介した他にも調査相談(レファレンス)事例をホームページに多数ご紹介しています。

【群馬県立図書館ホームページ>調査相談>調査相談事例・郷土人物データベース】

お問い合わせ：群馬県立図書館 〒371-0017 前橋市日吉町1丁目9-1 電話：027-231-3008